

教職員のための 子どもの健康観察の方法と 問題への対応

文部科学省

まえがき

近年、都市化、少子高齢化、情報化、国際化などによる社会環境や生活環境の急激な変化は、子どもの心身の健康にも大きな影響を与えており、学校生活においても生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、児童虐待などの心の健康問題、アレルギー疾患、性の問題行動や薬物乱用、感染症など新たな課題が顕在化している。

保健室利用状況に関する調査（H18）においても、①来室者が多い上に一人当たりの対応時間も増加している、②子どもの心身の健康問題が多様化しており来室理由の背景に身体的な問題よりも心に関する問題を抱えている子どもが多い、③医療機関等との連携を必要としている事例が多い、などのことが明らかになっている。

このような状況の中、中央教育審議会答申「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」が出され、学校においては、子どもの心身の健康問題の早期発見、早期対応を図る上で大きな役割を果たしている日々の健康観察や保健指導などの適切な実施が求められているところである。この答申を踏まえて、学校保健法の一部改正を行い、平成21年4月1日に施行する学校保健安全法において、新たに、健康観察、保健指導、医療機関等との連携などを位置付け、充実を図ったところである。

このたび、文部科学省においては、「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応－メンタルヘルスを中心として－」を作成した。

本書は、健康観察の重要性や目的の理解、健康観察の視点や方法、健康観察表のモデル例の提示等に加え、子どもの心の健康問題が増加していることから、身体面のみならず心の健康に関する健康観察の視点や対応の在り方について、日常の健康観察からの事例を通して、理解が深められるように構成した。

本書が教職員のみならず、学校関係者に広く活用され、子どもの心身の健康問題の対応の充実を図るために生かしていただけることを願っている。

平成21年3月

文部科学省スポーツ・青少年局長

山 中 伸 一

教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応 －メンタルヘルスを中心として－

目次

第1章 健康観察	6
1 健康観察の重要性	6
2 健康観察の目的	6
3 健康観察の法的根拠	6
4 健康観察の機会	7
5 健康観察の評価	8
第2章 健康観察の実際	9
1 朝の健康観察	9
(1) 健康観察の手順	
(2) 健康観察の視点	
(3) 健康観察の方法	
(4) 健康観察結果の集計	
(5) 特別支援学校における健康観察	
(6) 健康観察記録の活用方法	
2 学校生活全体における健康観察	16
(1) 体・行動・態度・対人関係に現れるサイン	
(2) 発達障害のある子どもの健康観察	
第3章 子どものメンタルヘルスの理解と健康観察	20
1 心の健康問題を取り巻く最近の状況	20
2 心の健康問題とメンタルヘルス	20
(1) 心理社会的要因に基づく問題	
(2) 脳機能の異変に原因をもつ問題	
①機能性精神疾患（内因性精神病）	
②器質性精神疾患	
③発達障害	
(3) 身体疾患と関連するもの	
3 子どもの心の健康問題と教職員の役割	22
4 診断のもつ意味	22
5 子どもと常に身近に接している教職員による健康観察の重要性	23

第4章 心の健康問題への対応	24
1 組織的対応の進め方	24
2 地域資源の活用	25
3 教職員の役割	26
(1) 校長・教頭等	
(2) 保健主事	
(3) 学級担任等	
(4) 養護教諭	
(5) 学校医・学校歯科医	
(6) 学校薬剤師	
(7) スクールカウンセラー	
(8) 教育委員会	
第5章 事例から見る子どものメンタルヘルスの理解と対応	30
1 事例から見る健康観察の視点や疾患等の理解と対応	30
2 事例の構成	30
(1) 代表的な精神疾患とてんかん	
事例1 統合失調症の事例／高校	
事例2 午前中のうつ状態が目立った事例／中学	
事例3 双極性障害を背景に大量服薬し自殺しようとした事例／高校	
事例4 リストカットの事例／高校	
事例5 文字を何回も書き直して苦しんでいる事例／中学	
事例6 頻繁な手洗い行動等による不登校が見られた事例／高校	
事例7 体重が減り続ける事例／中学	
事例8 心理的原因から腹痛と呼吸困難が生じた事例／中学	
事例9 リストカットと大量服薬を繰り返す事例／高校	
事例10 授業中に突然ボーッとなる事例／小学	
事例11 周囲の状況に関係なく他の生徒の物を持ちたり動き回ったりする事例／中学	
事例12 学校でてんかん発作がたびたび起きる事例／小学	
事例13 睡眠障害のために不登校となった事例／中学	
(2) 発達障害とその関連障害等	
事例14 知的発達の遅れがあるかどうかの判断が難しい状態があり、学校での適応に 困難を来していた事例／小学	
事例15 読み書きが苦手な学習障害（LD）の事例／小学	
事例16 多動などの養育困難による虐待が心配された事例／小学	

事例 17	トゥレット障害の事例／小学	
事例 18	家庭で攻撃的な行動が見られた事例／中学	
事例 19	好きな女子生徒への行動が問題となった事例／中学	
事例 20	突然激しく泣き、パニックとなる事例／小学	
事例 21	からかわれるとすぐに相手を殴ってしまう事例／小学	
事例 22	インターネットへの依存が見られた事例／小学	
事例 23	選択性緘黙から不登校になった事例／小学	
事例 24	母親との分離不安を示した事例／小学	
事例 25	保護者に精神疾患があり家族への支援を必要とした事例／中学	
事例 26	うつ状態を合併したアスペルガー症候群の事例／高校	
事例 27	高校合格が決まった直後から不登校になった事例／高校	
(3)	虐待と性被害	
事例 28	学校外で性的被害を受けた事例／小学	
事例 29	理由なく遅刻や早退が見られた事例／中学	
事例 30	家に帰りたがらない女子生徒の事例／高校	
事例 31	性被害に遭遇した事例／高校	
第6章	主な疾患等の解説	66
1	主な身体疾患等	66
(1)	一般的な身体症状と身体疾患	
	①頭痛	
	②腹痛	
	③せき	
	④頻尿	
	⑤関節痛	
	⑥湿しん	
(2)	子どもによく見られる感染症	
	①インフルエンザ	
	②麻しん（はしか）	
	③水痘（みずぼうそう）	
	④風しん（三日ばしか）	
	⑤流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	
	⑥咽頭結膜熱（プール熱）	
2	主な精神疾患等	68
(1)	主な精神疾患	

①統合失調症	
②気分障害	
③強迫性障害（OCD）	
④摂食障害	
(2) 発達障害とその関連障害	
①広汎性発達障害	
②学習障害	
③注意欠陥多動性障害（ADHD）	
④チック障害	
⑤反抗挑戦性障害・行為障害	
(3) てんかん、その他	
①てんかん	
②心身症	
③心的外傷後ストレス障害（PTSD）	
④選択性緘黙	
(4) 児童虐待	
①児童虐待の種類	
②児童虐待に関する学校の役割	
参考資料	83
1 健康観察の概要（教職員用配布資料例）	
2 子どもの心のケアのために－PTSDの理解とその予防－ （平成18年3月、文部科学省保護者用パンフレット）	